

# MAKINOHARA

広報まきのほら vol. 87

2009

8  
05

浜名湖花博から引き継ぎ  
この地に花が咲く

浜名湖花博古代蓮の里・坂部第2町内会1班



特集

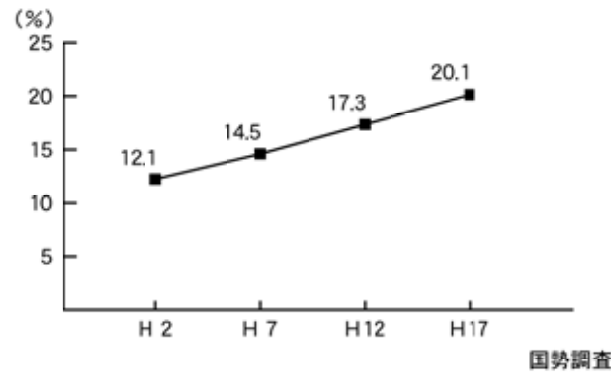
幸せに歳を重ねる  
生き生きと輝いて、支え合う



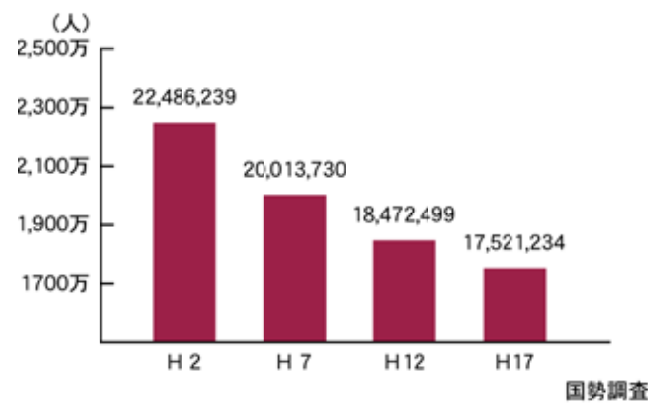
# 第1章 高齢化の現状

全国的に高齢化が進んでいると言われていたが、市の現状はどのようなだろう。

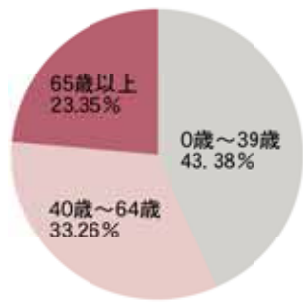
全国高齢化率の推移  
(総人口に占める65歳以上人口比率の推移)



0歳から14歳までの人口推移 (全国)

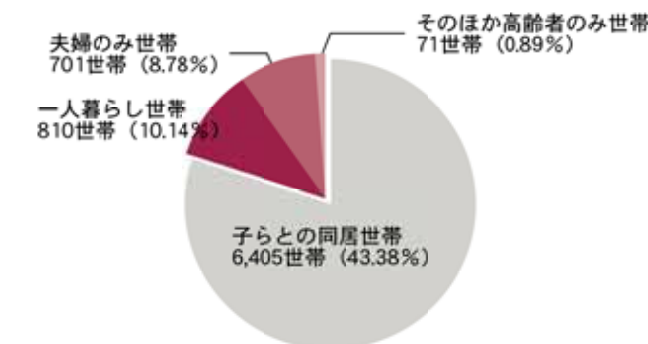


市の高齢化率 (総人口 51,929人)



平成21年度高齢者福祉行政の基礎調査

世帯区別高齢者世帯数 (高齢者総世帯数7,987世帯)



平成21年度高齢者福祉行政の基礎調査

出生数が減り、平均寿命が伸びているため、全国的に高齢化が進んでいるが、牧之原市も例外ではない。平成21年度高齢者福祉行政の基礎調査によると、市の総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は23・35%と10人に2人が高齢者だ。また、この率は年々高くなっていく。

**市の高齢化率は23・35%**

今後、団塊の世代が高齢者となれば、その数値は増加することが予測され、市介護保険室の推計では、高齢化率は平成25年が24・4%(1万2千500人)、30年が26・7%(1万3千633人)と予測されている。

## 生き生き健康で長生き

現在、市内在住の高齢者で介護を必要とする方は15・1%にのぼる。少子高齢化が進む中で要介護の方が増えれば、家族や地域、市への負担もますます大きくなる。また、高齢者になっても、介護を受けず、自分らしく生き生きと暮らしたいという思いは多くの方が持っている。では、そうするためには、何が必要だろうか。高齢者の中には、健康のため

## 高齢者の抱える問題

平成21年度高齢者福祉行政の基礎調査によると、市内で高齢者を含む世帯のうち一人暮らしの世帯は10・14%(810世帯)と1割を占める。夫婦のみ世帯8・78%(701世帯)とその他高齢者のみ世帯0・89%(71世帯)を合わせた約2割となる。このように高齢者のみの世帯が市内でも珍しくない。平成20年に市が実施した「市民アンケート」では、「高齢者のみの世帯が安心して暮らせるようにしてほしい」といった声が寄せられている。

一人暮らしの世帯では、自分が倒れたり、病気になるたりに不安に思ったり、寂しさを感じたりしている方がいる。また、家族と同居していても家族が働いているため、話し相手がいなくて寂しいと感じている高齢者の方もいる。このような問題を、どうしたら解決できるだろうか。



民謡クラブの皆さん

## 特集

# 幸せに歳を重ねる

## 生き生きと輝いて、支え合う

長生きをするのなら、健康で幸せに歳を重ねたいと思う。いつまでも元気に楽しく生きるためにはどうしたらいいのか。また、高齢者が安心して暮らすためには、どのような支え合いが必要か。



# 第2章 生き生きと輝いて

歳を重ねても、生き生きと元気に暮らしている人たちがいる。そんな人たちから、いつまでも楽しく輝いて生きる秘訣を探る。

国民文化祭では「塩の道ウォーキング」の責任者を務めている松下さん。松下さんは、東海道400年祭をきっかけに、平成12年に「街道を歩く会」を立ち上げ、相良から長野県伊那市（旧高遠町）までと長野県大町市から新潟県糸魚川市までの「塩の道」を歩いた。「塩の道」が終わってからは、東海自然歩道や熊野古道など、各地の街道を歩いています。15年前から健康のためウォーキングを始めた。松下さんが歴史に興味を持ち始めたのは田沼意次がきっかけ。



街道を歩こう会会長  
まつしたすけむ  
**松下進さん** (71) 遠波

歴史の面白さを知り  
街道を自分の足で歩きたい

「いろいろ政治で知られているけど本を読んだりして調べてみると、近代政治を行った人物だということの方が分かりました。それから、歴史が面白くなりました」  
実際に見てみなければ気が済まない性分で、子どもころに聞いた遠州七不思議の『京丸牡丹』や『三度栗』に出てくる場所も自分で訪れてみました。だから街道も実際に自分の足で歩いてみたいんです」と語る。  
今は、歴史を学びながら健康増進にもつながる「塩の道ウォーク」への参加を呼びかけている。

すがすがしい笑顔がすぎな浅倉さん。趣味は、53歳から始めた日本舞踊と三味線。「三味線は指を使い、踊りは振り考えて踊るので頭の体操になります。」所属する日本舞踊のグループでは、年に10回以上、県内の老人ホームなどを慰問して回っている。「高齢者の方は着物を着て行くので着物を着て行くのが楽しみです。自分が踊ることと喜んでもらえることがうれしいです。『また来てくださいね』と言われるととても励みになります」  
浅倉さんは坂部地区で、



趣味は日本舞踊と三味線  
あさくらしずこ  
**浅倉静子さん** (75) 坂部

踊りや地域の活動を通じて  
恩返しをしたい

高齢者が楽しく集うふれあいサロンに参加し、地域の方と一緒にボランティア活動を行っている。「私は坂部が大好きです。子どものころに父親を亡くし、つらいこともありましたが、この地区の皆さんが励ましてくれたり、話を聞いてくれたりして支えてくれたんです。本当に感謝しています。だから今度はわたしが、皆さんに恩返しをしたい」と語る浅倉さんの表情はとても温かい。幼いころに周りの方からもらった「人を思いやり、支え合う心」が、今の浅倉さんの原動力だ。



高齢者の方にお弁当づくりのボランティア  
しばもとなおこ  
**柴本直子さん** (74) 川崎

好きな料理で高齢者の方に  
喜んでもらうのが生きがい

料理が好きな柴本直子さん。「小学5年生のときに終戦を迎え、戦後の食糧難の時代を過ごしました。母が料理に関心があり、少ない食材のなかで工夫して食事を作ってくれました」  
そんな母親の背中を見て育った柴本さんは子どもころから、「高齢者の方に料理を作ってあげることがしたい」と思っていました。

柴本さんは、12年前、高齢者の方にボランティアでお弁当を作る活動をしている「オムレツクラブ」の会員募集を知り、入会した。「お弁当を楽しくに待つていてくれるのがうれしいです。付け合せに南天の葉を入れて季節を感じてもらえるようにしたり、高齢者の方の口に合うよう味付けを工夫したりしています」  
町内会のボランティアグループにおいても、高齢者の方たちとの食事を月に1回開いている。「誕生月の方がいるときは、赤飯を炊いてお祝いしています」  
母親から受け継いだ、料理を工夫して楽しむ心が、高齢者の方たちの「食」を温かく支えている。



93歳で元気に野菜作り  
しばたひかる  
**柴田光さん** (93) 静波

午前地下足袋で野菜作り  
午後は仲間と囲碁や将棋

「午前中は、草取りをしたり、野菜の手入れをしたりしているよ。ねぎや大根、じゃがいもなど家で食べる分だけの野菜を作っている。朝は地下足袋を履かないと気持ち悪い。冬には山林管理のために山へ入って草刈りをしたり、枝打ちをしたりしている」  
背筋はピンと伸び、足取りは力強い。93歳とは思えないほど元気な柴田さん。

「午後には、囲碁や将棋をやっているよ。戦時中は海軍に所属してインド洋や南方、北海道へ訓練に出ていてね、半年ぐらいいは帰ってこなかった。海の上では娯楽がないから、そこで囲碁と将棋を覚えたいんだ」と囲碁と将棋との出会いを語る。  
柴田さんの囲碁や将棋の仲間は40代から70代と幅広い。老人クラブの囲碁会にも所属している。仲間から声が掛ければ車でお向かい、仲間が柴田さんの家に来れば、囲碁や将棋を打つこともしばしば。



【老人クラブ会員さん】  
四ノ宮 榮さん (85) 波津  
民謡クラブに参加して盆踊りなどを仲間と一緒に楽しく踊っています。手足を動かしたり、踊りを覚えるときに頭を使ったりするので、健康維持に繋がっています。友達といろいろな話をするのも楽しみのひとつです。



輪投げ大会



地域伝承

地域を基盤とする高齢者の自主的な組織。高齢者の社会参加、健康づくり、介護予防などのためにさまざまな活動をしている。市内の単位老人クラブは全部で77クラブあり、市老人クラブ連合会が統括している。

【活動内容】  
高齢者自らが生きがいを高め健康づくりを進める活動（輪投げ、グラウンドゴルフ、ゲートボールなど）や、奉仕作業などのボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする各種活動、趣味活動として、民謡や将棋、編み物、俳句などの活動も行っている。  
また、市内の小学校に訪問し、戦争体験や昔の生活について話をしたり、すいとんづくりをしたりと、地域伝承も行っている。

## 老人クラブ



# 第3章 みんなで支え合う

高齢化がますます進む中で地域で互いに高齢者を支えていくことが大切。そこで、地域や市が取り組んでいる高齢者支援活動を紹介します。

## 楽しく仲間づくり

ふれあい・いきいきサロン

ふれあい・いきいきサロンは、家に閉じこもりがち、話し相手がいない、寂しいといった不安や悩みを持っている高齢者の方に声をかけて、集まって「楽しく」「気軽に」「無理なく」「過」してもらい、「仲間づくり」「出会いの場づくり」をしようという目的に地域の方が中心になり開催されている。

サロンでは、高齢者の心と体の健康を保つために、各地の公民館を利用して、レクリエーションや健康づくりのための体操などを行っている。



ストレッチ体操をするはつらつサロン東福の皆さん

**参加者の声**  
「月1回のサロンが待ち遠しい」  
「同年代の友だちと笑ったり話したり、するのがいい。レクリエーションもたのしいです。サロンはずっと続けてほしい」

**ボランティアの声**  
「ボランティアが亡くなって一人になった方などは、話し相手が必要。お年寄りには話しかけたり、話を聞いてあげたりすることが大切です。話しに耳を傾けて優しく返すと、自然と会話が弾み、喜ばれます。そうやって支えることが大切」



はつらつサロン東福のボランティアの皆さん

## 高齢者の「食」を支援

ちよつとサポーター

ちよつとサポーターは、地域で暮らす高齢者の「食」を中心に、家庭で毎日作るおかずを「ちよつと」だけ、食の確保が難しい支援が必要な高齢者の方に「おすそ分け」をする活動をしている。おすそ分けは、人と人との交流を生む。この活動を通じて地域の方と高齢者の方との交流も深まっている。サポーター活動を長く続けていくための合い言葉は、「心遣いを届ける。無理をしないちよつとのお手伝い」



近所の高齢者のお宅におかずをおすそ分け

**ボランティアの声**  
ひとりだけの食事だと食事がおろそかになったり、栄養が偏ったりしがちなので、おすそ分けをするときは、栄養のバランスに気を付けています。味は薄味で喜んでもらっています。無理をせず、自分のできるときに活動しています。

歳を取ると食べる量が減るものですが、それだけでなく、買物や料理がおっくうになったり、胃腸の消化・吸収力が衰えたりして、十分な栄養が取れなくなることがあります。これが、「低栄養」の状態です。食事は体を作るたんぱく質や活動のためのエネルギーの源、健康な生活の基本です。主食（ごはん、パン、麺など）と主菜（魚、肉、卵、大豆製品など）をしっかり食事でとりましょう。

高齢者の食生活  
ひとくちメモ  
おいしく楽しくバランス良く

## 介護予防支援

介護予防拠点施設  
生きがいガーデンこた・相良いきいきセンター

**介護予防拠点施設とは**  
介護予防拠点施設とは、高齢者が寝たきりや、認知症にならないように介護予防について学んだり、実践したりする場のこと。

市内には、「生きがいガーデンこた」と「相良いきいきセンター」の2カ所がある。両施設は、高齢者の方が同世代の方や若い世代の方とさまざまな活動を通じて交流する場としても利用されている。

断された方を対象に、週に1度転倒予防体操や口腔ケア、各種レクリエーション活動を実施している。

**活動内容**  
25項目の基本チェックリストで「介護予防が必要」だと診



転倒予防体操



口腔ケア



レクリエーション

### 市の高齢者支援サービスを紹介します

【身体状況により受けることが可能なサービス】

事業名	内容	対象者	利用料
緊急通報システム	急病などの緊急時に通報できる機器や火災、ガス漏れなどの異常を通報するシステムを設置し、安否を確認する。設置には、民生委員の署名が必要。	一人暮らしの75歳以上の虚弱高齢者	210円/月
配食サービス	1週間に3回を限度に食事の調理が困難な一人暮らし高齢者などに昼食を提供する。	一人暮らしの65歳以上の高齢者、障がい者などの非課税世帯	370円/食 *おかずだけの場合は300円/食。

【介護保険対象外の方が受けられるサービス】

生活管理指導員派遣	日常生活や家事などが困難な高齢者の自宅をホームヘルパーが訪問し、家事援助や身体介助、相談助言などの支援や指導を行う。	介護保険対象外で65歳以上の低所得高齢者	200円~310円/回程度
生活管理短期宿泊	1カ月に7日を限度に、介護老人ホームへ一時的に宿泊し、日常生活に対する指導、支援を行う。相寿園へ短期宿泊。	生活習慣の指導が必要で、介護保険対象外の65歳以上の高齢者	1,730円/日

#### 問い合わせ

●ちよつとサポーター 福祉支援室 植田 ☎ (23) 0074  
●老人クラブ、ふれあいきいきサロン 健康づくり室 若杉 ☎ (23) 0024 市社会福祉協議会 ☎ (52) 3500

#### 取材を終えて

幸せに歳を重ねるために、自分らしく生き生きと輝いていることが大切だ。一般に65歳以上の方を高齢と呼ぶが、今の65歳以上の方は元気で若さ溢れる方がたくさんいる。今回取材をした中で、生き生きと輝いている方にくつかの共通点を見つけた。それは、健康であること。生きがいを持っていること。仲間を大切にしていること。人のためになることをしていること。また、高齢化が進む中で、お互いに助け合い、支え合うことも大切だ。今は昔と比べ地域のコミュニティが希薄になったと言われている。戦争を体験した高齢者の方たちは、「食料のない時代を過ごしたが、お互いに支え合って生きてきた」と異口同音に言っていた。このお互いを思いやる気持ちがある時代は、ますます大切だ。高齢者が安心して暮らすために、近所の高齢者の方が日常生活で困っていたら、気軽に手伝いをしてみよう。

#### 低栄養を防ぐ食生活のヒント

▼間食の食べすぎに気をつけて3回の食事をしっかり食べましょう。(食欲がわかないときは好きなものだけでも食べましょう)  
▼食事のときにはお茶を飲みましょう。(水分はしっかり補給)  
▼一緒に食事をする機会に楽しんで参加しましょう。(家族や仲間との楽しい食事は「食べる」ことへの意欲を高めます)





# 市長のおでかけトーク

市民と市長が意見交換を行う「市長のおでかけトーク」が、5月から7月まで、市内12会場で開催され、市民946人が参加しました。トークでは、榛原総合病院の運営や市の財政状況、市の経営方針などについて説明するとともに、市民からの質問や意見に、市長が回答しました。会場での質問や意見の中から主なものをお知らせします。

問い合わせ  
秘書広報室 西川  
☎ (23) 0052

## 榛原総合病院の運営

榛原総合病院の運営や医師の確保について、どのようにお考えですか。

地域住民の安全安心を守り、牧之原市が財政破綻をしないための最善の策として、「指定管理者制度」の導入を推進します。

医療法人などが指定管理者になれば、現在不足している内科や脳神経外科などの医師が配置しやすくなります。

また、民間の経営手法により、経営内容が改善することが期待され、財政支援の軽減を図ることが可能となります。民間の大きな医療法人などの力を投入して運営することが、地域住民の医療を支える「砦」として、榛原総合病院が生き残ることができる最善の策であり、唯一の方法です。

## 指定管理者制度への移行に関するスケジュール（予定）

区分	7月	8月	9月以降
指定管理者選定委員会の設置・開催	●(設置)	●(指定管理者候補者の選定)	
指定管理者の公募	●(2週間)		
指定管理者選定にかかわる議決		●(病院組合議会議決)	
指定管理者との協定締結		●	
住民説明会			協定締結後、実施
榛原総合病院を指定管理者へ移行			協定締結後、移行

榛原総合病院の運営については、多くの方から質問や意見をいただきました。今後の方向性を検討している最中で、会場ごとに説明内容が更新されましたことをご理解ください。

## お茶の振興

お茶の価格低落で将来に希望が持てません。基盤整備の推進など、生産効率を上げることを検討できませんか。

牧之原市は、県内の自治体の中でも、特に茶園の基盤整備に力を入れている市で、生産性の向上を目的として、現在も4カ所の区画整理事業をはじめとする、生産基盤の整備を推進しています。

また、お茶の振興については、消費・販売の促進がたいへん重要で、今後、わたしたち生産者が直接販売していくことが必要だと思います。皆さんにお茶の消費拡大や販売の促進についてアイデアをいただきながら、基幹産業である茶業の支援に努めていきたいと考えています。

## 富士山静岡空港

空港の活用について、どのように取り組めますか。

フジドリームエアラインズ（FDA）は坂口工業団地に本社を設置し、約100人の方が勤務しています。また、空港運営会社もできましたので、市内には少なかつた観光や誘客、接客などの仕事、若い方の勤める機会が新たに創出されました。

今後、空港に関する企業ニーズや空港を利用したまちづくりなどについて、調査・研究を進めながら、空港を利用する企業、空港に関連した

企業などの誘致について、より一層の努力をしていきたいと考えています。

何よりも、空港の活用のためには、多くの飛行機が就航することが必要だと思いますので、空港の利用促進を積極的に推進していきます。

## 富士山静岡空港への新幹線新駅の設置について、どのように考えていますか。

空港と新幹線の連結は必要性が高く、国の施策として取り組むべき事案でもおっしゃいますので、関係機関と連携しながら、設置に向けた気運を盛り上げていきたいと考えています。

## 榛原・相良庁舎の統合

市の職員が多いと思います。榛原庁舎と相良庁舎は一つにできませんか。

両庁舎に現状のままの機能を置くとなると、これ以上職員数を減らすことは困難です。昨年、市民意識調査を実施したところ、庁舎を統合することに賛成の方が約3割、約6割の方は、今のままで良いとの回答でした。しかし、お金がなくなった場合、財政再建団体になった夕張市の例では、11校あった小中学校を各1校とする再建計画が決定されています。

## 事業の実施

財政状況の厳しい中、事業については、優先順位などを設定し、取捨選択しながら実施する必要があります。はないでしょうか。

主要な事業については、4

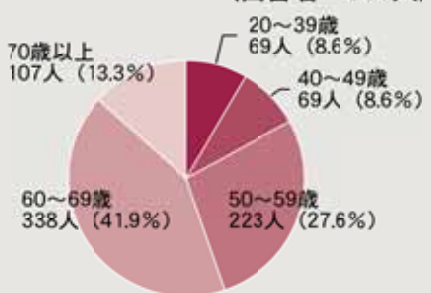
## 質問・意見など

このほか、市民との協働、道路や河川などの整備、行政改革などについて、多くの質問や意見をいただきました。「市民のための市役所」を判断基準として、皆さんからの貴重な意見を、行政運営に生かしてまいります。

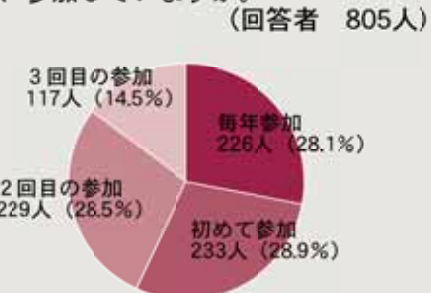
## 「市長のおでかけトーク」アンケート結果

「市長のおでかけトーク」に参加した方にアンケート調査を実施しました。アンケートでは、市の取り組みや課題、今回から始めた質問票による意見交換などについて、ご意見をいただきました。

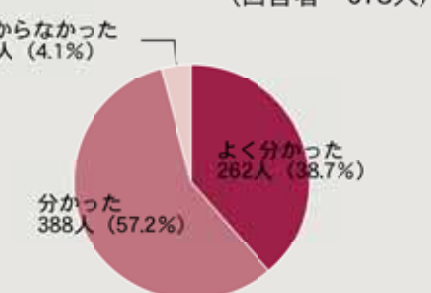
### あなたの年齢はいくつですか。（回答者 806人）



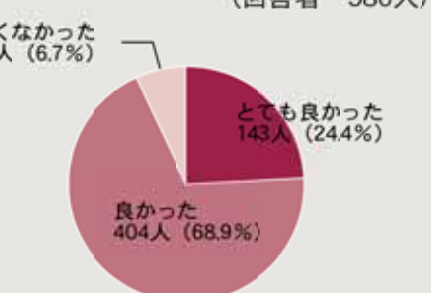
### 「おでかけトーク」は今年で4回目です。毎年、参加していますか。（回答者 805人）



### 市の取り組みや課題が分かりましたか。（回答者 678人）



### 質問票による意見交換はどうでしたか。（回答者 586人）



各会場における会議録は、ホームページや両庁舎の情報公開コーナーでご覧になれます。  
http://www.city.makinohara.shizuoka.jp



# 男女協働学習行動計画は あなたの思いを手助けします

問い合わせ 協働推進室 八木 ☎(23)0053

フォーラムまきのはら、  
そして……

牧之原市では、市民と行政が協働するまちづくりを推進しています。

協働の具体的な動きは、平成18年度の「フォーラムまきのはら」に始まり、環境や生活など、さまざまな分野において市民組織との協働を実践してきました。20年度からは、より身近で生活に密着する「地域」の課題をテーマに取り組みを進めています。

このような中で、現在、市の取り組みは全国で注目されるまでに成長しました。

20年度には、全国の首長や地方議員が政策を競い合う「第3回マニフェスト大賞」で「マニフェスト推進賞」を受賞。さらに、全国の先進的なまちづくり活動を行う個人や団体、企業に贈られる「イノベティブ・ポリシー賞」を受賞しました。

本市の取り組みは、全国の注目を集めているとはいえ、「フォーラムまきのはら」以降、協働の概念は明文化されず、決して市民に分かりやすいものではありませんでした。

そこで、このたび、協働の概念をまとめた「男女協働学習行動計画」を策定しました。

「牧之原市における協働とは何か」この計画書はガイドブック的な要素を多く取り入れ、理念から協働活動についての基礎知識まで、「協働」を知らない方にも分かりやすいものになっています。

そしてこの計画書は、検討段階から市民と行政の協働が進められ、策定後も、市民の意見を反映し、改定する予定です。

## フォーラムまきのはらの原点へ 「男女協働サロン」

前年度の協働の取り組みは、「フォーラムまきのはら」の原点に戻り、地域課題の解決を目指すことに目を向け、各種の活動が行われました。

そして、活動の中心となったのが、「男女協働サロン」です。

10代から70代まで延べ600人以上の方が、地域ごとに集まり、その地域への思いを語り合いながら、より良い地域にするために解決すべき課題をま

とめました。

本年度の「男女協働サロン」は、前年度に挙げられた課題などに対して、具体的な解決策を探ることを目標としています。

開催場所も、前年の5地区から11地区に範囲を広げ、会場も地区のコミュニティ施設を利用するなど、多くの方が参加しやすいようにしました。

## あなたの力を生かせる 協働の場所や形が必ずあります

「身近な課題を共有し、かかわる方みんなで解決を図る」

これが協働の最も核となる考え方で、協働の場は「男女協働サロン」に限られません。

市内には、独自に活動する市民組織も存在しています。

「もっと住みやすい牧之原市にしたい」その思いさえあれば、あなたの力を生かせる協働の場所や形が必ずあるはずで

あなたはその一歩を踏み出すために、基礎知識が詰まった「男女協働学習行動計画」を手にとってみてください。



男女協働学習行動計画

理念から協働活動についての基礎知識まで、「協働」を知らない方にも分かりやすいものになっています。

## 牧之原市協働推進の歩み

### 平成18年度

協働推進のための初の試みとして、「フォーラムまきのはら」がスタート

### 平成19年度

■市長マニフェストを検証する「市民討論会」開催



最初の取り組みは、市長のマニフェストを検証すること。延べ1,000人以上の方が参加。

■市長マニフェスト検証大会

■小中学生男女共同参画実践発表交換会



2月に開催し、「人権と男女共同参画」をテーマに、資料や劇などの演出で児童・生徒が発表しました。

### 平成20年度

- 「まきのはら協働推進会議」発足
- 「男女協働学習行動計画」検討開始
- 協働ファシリテーター養成講座開催
- 地区別「男女協働サロン」開催



7月に「男女協働サロン」がスタート。牧之原市への思いを語り合い、地域の課題を掘り起こしました。

- 企業「男女協働サロン」開催
- 全市「男女協働サロンーみんなで語ろうまきのはら」開催
- マニフェスト大賞「マニフェスト推進賞」受賞



市長のマニフェストを検証する過程が全国規模で評価され、「マニフェスト推進賞」を受賞しました。

- 小中学生男女協働参画実践発表交換会
- 「イノベティブ・ポリシー賞」受賞

法政大学地域研究センターから、男女協働サロンやファシリテーター養成講座などの研修を伴った「まちづくり活動」が先進的と評価されました。

### 平成21年度

- 「男女協働学習行動計画」策定
- 協働ファシリテーター養成講座開催

- 今月以降の主な予定
- 学校「男女協働サロン」開催
- 幸福実現都市を目指す市民討論会開催
- 地区別「男女協働サロン」開催
- 全市「男女協働サロン」開催
- 小中学生男女共同参画実践発表交換会
- 協働シンポジウム開催



わたしたちのまきのはらへー言メッセージ





## 地域の河川を守るため 定期的な作業を続ける

『リバーフレンド』

リバーフレンド町づくり実行隊と庄内リバーフレンド約20人は7月19日、勝間田川の深谷橋から竹橋までの右岸約1.5メートルの草刈りを実施しました。

市内では、リバーフレンドが22団体あり、河川の定期的な草刈り作業を行っています。また、30周年を迎えた株式会社ハイナンから寄贈していただいた自走式草刈機を、今回から使用しています。



## 安全を祈願した海開き 笑顔いっぱいの初泳ぎ

『相良サンビーチ海開き』

相良サンビーチは7月1日、海開きを迎えました。海開きを前に、開場式が開かれ、市観光協会をはじめとする関係者で、期間中の安全を祈願しました。

開場式後、相良幼稚園と相良保育園の園児による初泳ぎが行われました。

まだ冷たい海に飛び込んだ園児らは、驚きの中にも、とびっきりの笑顔を見せていました。

わだいのひろば  
CLOSE UP

## 牧之原市消防魂を燃焼させ、県大会に挑む

—第32回静岡県消防操法大会—



第32回静岡県消防操法大会は7月18日、袋井市の静岡県小笠山総合運動公園で行われ、牧之原市消防団がポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部に出場しました。

消防団員の日ごろの訓練の成果を査閲し、消防技術の向上と士気の高揚を図ることなどを目的としている同大会は、県内から14消防団が参加し、操法を競い合いました。

市消防団は入賞を逃しましたが、牧之原市消防魂を燃焼させた団員の姿は、市の防災の要としてとても頼もしい姿でした。

なお、小型ポンプ操法の部に出場した山崎陽介班長は、同部1番員の最優秀賞を受賞しました。

ポンプ車操法の部



指揮者 直里武男 団員 甲賀温樹 班長 杉山琢磨 団員 八木 翔 団員 大高佳樹 団員 森田一成 班長

小型ポンプ操法の部



指揮者 鈴木雄司 班長 山崎陽介 班長 大石和正 団員 浅野昇太 団員 末次正人 団員

この静岡県消防操法大会は、菊川市と御前崎市の広報担当者らと連携し、撮影などを含め、共同取材をしました。

## 有害サイト対策を学び 危険から子どもを守る

『ケータイ安全教室・坂部小学校PTA』

この教室は、携帯電話の有害サイトから子どもの安全を守るように、知識を身につけるために行われたもの。

講師は保護者に、「有害サイトを発見することができないフィッシング」をすることも保護者の役目」と呼びかけました。

坂部小学校PTA（池ヶ谷裕明会長）は7月3日、坂部区民センターで同校保護者を対象に「ケータイ安全教室」を開催しました。



## 曲に合わせて楽しく踊り 地域に盆踊りを伝える

『盆踊り講習会』

盆踊り講習会は7月8、9の両日、相良B&G海洋センター体育館で行われ、約150人が参加しました。

この講習会は、相良民踊舞踊研究会の会員が指導し、昔から相良地域に伝わる盆踊りを練習して、各地区での納涼祭で踊ってもらうことを目的としています。

参加者は、研究会会員の振りを見て、曲に合わせて楽しく踊っていました。





## 募集

### 第3回塩の道ウォークに参加してみませんか

国民文化祭「塩の道フェスティバル」で「塩の道ウォーク」を行います。

期日 9月9日(水)

区間 長野県飯田市南信濃村「かぐらの湯」から青崩峠、浜松市水窪町足神社を通り国道152号まで。

\*17\*メートルで、所要時間約5時間。

集合時間・場所 ▼午前7時 榎原庁舎 ▼午前7時15分 相良庁舎

申込方法 榎原総合窓口室、相良総合窓口室、榎原文化センター、いづらにある申込書で申し込む。または、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、バス乗車場所、「第3回ウォーク希望」を明記の上、はがき、メールまたはFAXで連絡。

参加費 無料

\*ただし、昼食は各自負担。  
定員 40人(申込多数の場合抽選)

申込期限 8月20日(木)

【第4回以降の予定】  
▼第4回 9月26日(土) 浜松市天竜区佐久間町 ▼第5回 10月17日(土) 浜松市天竜区春

### 定期監査結果報告書などの公表をしています

平成20年度定期監査意見に対する措置状況報告書や工事監査結果報告書および措置状況報告書、市が財政援助している団体監査(書類)結果報告書を公表します。

詳細はホームページや情報公開コーナー(榎原庁舎2階市民ラウンジ、相良庁舎1階ロビー)でご覧いただけます。  
問い合わせ 監査委員事務局 神谷 ☎(23) 0043  
http://www.city.makinohara-shizuoka.jp

### あなたの気付きや行動で子どもが救われます

「間違いかも……」とためらわないでください。

「長い時間、泣き喚いでいる子がいる」「家の外に出されてるようだ」など、虐待かどうかかわらなくてもお知らせください。秘密は守られます。あなたが気付き、行動(連絡)することが子どもを救うのです。

問い合わせ ▼牧之原市福祉事務所 家庭児童相談室(市役所子育て支援室内) 大石 ☎(23) 0071 ▼静岡県中央児童相談所 ☎054(286) 9236

### みんなで歩きましょう

足腰の筋力低下や閉じこもりを予防するため、MAPまきのはら主催の「第2回ほつとも(歩友)ウォーキング教室」を開催します。

日程・集合場所・コース

- ▼9月10日(木) さざんか 東光寺コース(開講式)
- ▼9月20日(日) さざんか かりんぼコース
- ▼10月10日(土) トーク地頭方釣月院コース
- ▼10月20日(火) 静波コミュニティ防災センター 静波海岸コース
- ▼11月10日(火) 大興寺(西萩間) 大興寺コース
- ▼11月20日(金) 榎原文化センター 榎の木会館コース
- ▼12月10日(木) 相良庁舎 平田寺コース
- ▼12月20日(日) 榎原文化センター 秋葉公園コース
- ▼1月20日(水) トーク地頭方

### 世界恒久平和の実現を祈念しサイレンを吹鳴

8月6日と8月9日は、広島市と長崎市に原子爆弾が投下されてから64年目を迎え、両市では原爆被害の慰霊と平和祈念の式典が、また、8月15日の終戦記念日には、政府主催による全国戦没者追悼式が執り行われます。

市では、両市における原爆死没者の冥福と世界恒久平和の実現を祈念するため、次のとおり同報無線のサイレンを吹鳴しますので、1分間の黙とうにご協力をお願いします。

- ▼8月6日(木) 午前8時15分 広島原爆の日
- ▼8月9日(日) 午前11時2分 長崎原爆の日
- ▼8月15日(土) 正午 終戦記念日

### インターンシップ事業に参加してみませんか

市では、高校生や専門学校生、大学生を対象としたインターンシップ(職業体験)事業を実施しています。就職前に職業体験をすることにより、自己の適正にあった職業を把握できるというメリットがあります。

野町 ▼第6回 10月30日(金) 菊川市 牧之原市  
申込先 芸術文化室 田形 ☎(52) 5544  
☎42110524  
須々木140番地  
須々木 ☎(52) 5585  
bunka@city.makinohara.shizuoka.jp

### 市営住宅の入居待機者

10月1日から翌年9月30日までを期間とする市営住宅の入居待機者を募集します。応募者の中から抽選で入居順位を決定。空きが生じたら、順番に入居できます。

対象住宅 黒子団地、菅ヶ谷団地、ハイソ地頭方団地、静波団地、湊団地、三栗団地、牧之原団地

### 国民年金保険料の免除制度を知っていますか

遠方の学校に就学されている方も、夏休みを利用して参加できるのが、就職活動の一環として体験してみませんか。対象 高校生、専門学校生、大学生、短期大学生

実習事業所 牧之原市インターンシップ事業へ登録している事業所  
\*事業所一覧は市ホームページをご覧ください。  
問い合わせ 商工企業室内藤 ☎(53) 2647

納付が困難な場合には、免除制度などを利用してください。国民年金の保険料は月額1万4660円ですが、経済的な理由などで保険料の納付が困難な場合は、申請手続きをし条件が整えば、保険料の納付が全部または一部免除される制度があります。

入居資格 次の条件をすべて満たしている方  
▼住宅に困っている方  
▼市内に在住または在勤の方  
▼同居する親族がいる方(黒子団地は単身入居可)  
▼収入が基準以内の方  
▼連帯保証人がある方  
▼市税に滞納がない方  
▼暴力団員でない方  
申込方法 直接、都市住宅室まで申し込む。

申込期限 9月4日(金)

\*抽選は9月28日(月)を予定。  
申込先 都市住宅室 田中 ☎(53) 2633

### 静岡県交通安全指導員として活動しませんか

交通安全指導や交通安全のための広報・啓発活動を行う、平成22年度採用の静岡県交通安全指導員を募集しています。

資格 昭和61年4月2日から平成4年4月1日までに生まれ、高卒程度の学力がある方  
試験日(1次) 10月3日(土)  
申込方法 牧之原警察署にある申込書に必要事項を記入の上、提出する。

申込期限 9月18日(金)  
\*平成22年3月に卒業見込みの高校生の申込期間は、9月7日(月)から9月18日(金)まで。  
申込先 静岡県交通安全協会 会牧之原地区支部(牧之原警察署内) ☎(22) 6858

## お知らせ

### 幸福実現都市を目指す市民討論会を開きます

前年度の「男女協働サロン」での結果をマニフェストとしてまとめます。

日時 8月16日(日) 午前10時~午後3時  
会場 富士山静岡空港 多目的会議室  
申込方法 電話で申し込む。  
定員 20人程度  
申込期限 8月13日(木) 正午  
申込先 協働推進室 八木 ☎(23) 0053

### 地域の課題をみんなで話し合うための交付金

交付金名称 フォーラムまきのはら協働推進事業交付金  
交付対象団体 5人以上の市民で構成する団体  
交付対象事業 次のすべてを満たしている取り組み  
▼公共的な課題解決を図るもの  
▼みんなで話し合っって進めるもの  
▼市と協働で取り組むもの

申込期限 8月31日(月)  
\*詳細は問い合わせください。  
申込先 協働推進室 河原崎 ☎(23) 0053

### 夏休みはたきび塾で子ども映画会を楽しもう

子どもから大人まで、みんなで楽しく見ませんか。  
日時 8月10日(月) 午後1時30分  
会場 ケアハウス たきび塾 地域交流広場(大江)  
上映作品 崖の上のポニョ  
入場料 無料  
問い合わせ ケアハウス たきび塾 ☎(52) 5611

## 保健・子育て

### 児童扶養手当現況届の提出期限を訂正します

本紙7月20日号でお知らせした「児童扶養手当現況届」の中で、提出期限を誤って掲載してしまいましたので、お詫びして訂正します。

提出期間	
(誤)	8月3日(月)~8月28日(金)
(正)	8月3日(月)~8月31日(月)

申込先 子育て支援室 正木 ☎(23) 0071

## イベント

### 中央公民館まつりにみんなで行ってみよう

市民の地域活動や生涯学習の必要性を啓発することを目的に開催し、楽しい催しがいっぱいです。  
また、来場者には花の苗木がプレゼントされ、子どもにはわた菓子やポップコーン、金魚すくいなどのサービスもあります。  
なお、当日は混雑が予想されますので、乗り合わせの上、お越しください。

日時 8月23日(日) 午前9時~午後3時  
会場 相良公民館  
内容 物産販売、各種体験コーナー、映画会、お化け屋敷、大抽選会、もち投げほか  
問い合わせ 相良公民館 植田 ☎(52) 1021



集まれ!

まぎのはら

KIDS

あざき はな  
尾崎 華菜ちゃん(0歳)



平成21年2月3日生(川崎)

おもちゃを振って遊べるようになったよ!  
みんな仲良くしてね♪

となが しあん  
田中 志温くん(0歳)



平成20年9月30日生(川崎)

元気で、いたずらっ子なしー君♥初めての夏、真っ黒になるくらいたくさん遊ぼう!!

やまもと れいな  
山本 怜奈ちゃん(1歳)



平成20年3月25日生(細江)

お外であそぶのだ〜いすき♥  
とってもかわいいしぐさをする怜奈で〜す♪♪

すどう みさき  
須藤 美咲ちゃん(1歳)



平成20年4月5日生(坂部)

お兄ちゃんと手をつないで歩くのが大好きな美咲♥  
元気いっぱい大きくなーれ♪

とが あ かんた  
梶尾 寛太くん(1歳)



平成19年8月23日生(静波)

おしゃべり大好き優しい寛太君♥好物はお刺身、納豆……。お箸で上手に食べれます!

かじやま の あ  
梶山 絆愛ちゃん(3歳)



平成18年8月1日生(細江)

あーちゃん大好き大好き♥いつも仲良く遊んでます★みんなのんちゃんが好きだよ♥

**KIDS**  
元気なキッズ募集中。

9月7日(月) 8:15~ 掲載希望のキッズを受け付けます。

- 申込資格 掲載時点で、市内に住んでいる4歳未満のキッズ。
- 申込先・問い合わせ ☎(23)0044(秘書広報室)

受付時間を守ってネ!



◎今号の表紙

今号の表紙は、坂部第2町内会にある「浜名湖花博古代蓮の里」の古代ハス。

この古代ハスは、平成17年に開催された浜名湖花博の会場にあったものを、移植したもので、現在、同町内会有志により管理されています。

この里を訪れると黄色のハスを見ることができますが、このハスはバージニア種といい、とても珍しいとのこと。

古代ハスの見ごろは、8月中旬まで。花が開いているのは昼ごろまでのようです。



◎まちかど写真館

色はピンク  
名前はイエロー

撮影日 7/10 撮影場所: 静波



◎編集後記

この号の特集記事を作成するために、多くの高齢者の方と会い取材をしたが、その中で戦争体験の事などを聞かせてくれた。

テレビで見たり聞いたりするのは違い、兄弟が志願して兵隊になった話や、B29が市上空を飛んだ話など、その方たちがこの牧之原市で実際に体験したことで、とてもリアルだった。

先人が大変な苦勞をして、今私たちが同じ地に住んでいると思うと、身が引きしめる思いがした。

